

## マーケットの動き（2024年6月17日～6月21日）

先週の為替市場は、前週末比で米ドルは対円で上昇（円安）しました。  
FRB（米国連邦準備制度理事会）高官の発言や21日発表の米国PMI（購買担当者景気指数）速報値が上振れたことなどを受け、日米金利差の高止まりを背景とした円売り・米ドル買いが優勢となりました。円相場は159円台後半を付けるなど、約2か月ぶりの円安・米ドル高水準で週を終えました。  
ユーロは前週末比、対円で上昇した一方、対米ドルで下落しました。

## 投資環境見通し（2024年6月）

## 円に対して米ドル、ユーロともにレンジ内での動き

**米ドル：**米国ではインフレの再燃が意識されることに加え、日米実質金利差といった構造的な円安圧力が残る一方、米国における景気減速の兆しもあり、ドルは円に対してレンジ内で推移するとみています。ただし、為替レートの水準次第では日本政府・日銀による円買い介入も意識されており、変動率が高まる可能性があります。

**ユーロ：**ECB（欧州中央銀行）が6月に利下げを行うとの見方とともに、その後の追加利下げに対する関心が高まるとみられますが、緩やかなペースにとどまるとみられる中、ユーロは円に対してレンジ内で推移するとみています。

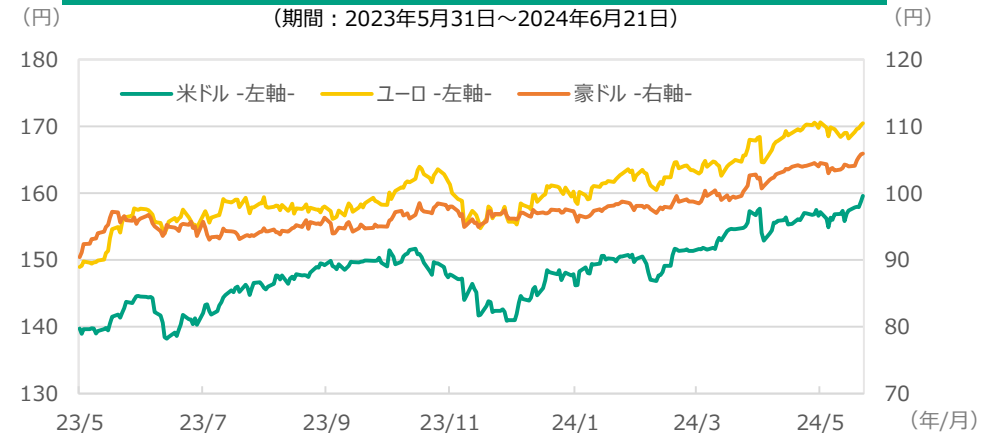
|       | 6月21日  | 変動幅（円） |       |       |       |
|-------|--------|--------|-------|-------|-------|
|       |        | 前週比    | 1カ月前比 | 6カ月前比 | 1年前比  |
| 米ドル/円 | 159.59 | 2.21   | 3.64  | 17.41 | 17.55 |
| ユーロ/円 | 170.47 | 2.27   | 1.11  | 14.22 | 14.87 |

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

[https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload\\_pdf/202406\\_outlook.pdf](https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202406_outlook.pdf)

## 為替レートの推移（対日本円）



## 為替レートの推移（対米ドル）



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>